

知って納得 コラム

The newest industry column.

Marathon

Image photo

たかがマラソン… されどマラソン
〜全国で火を噴くマラソン人気を、
肌で感じよう！〜

首都圏を中心に広がっている、マラソンブーム。8月31日に開かれた北海道マラソンでは参加者が過去最多の1万2,922人を記録し、また毎年参加者が増加し続けているという東京マラソンでは、2015年度の参加者募集に昨年を上回る30万5,734人の申込がありました。その抽選倍率は10.6倍。年々市民マラソン・ランナーの座をめぐる争いは激化するばかり。年を追うごとにマラソンは庶民のスポーツとして人気を高めています。何故、こんなにマラソンがブームになったのでしょうか？

42.195キロを走るなんて、普通に考えれば辛いだけ…。しかも、最初から最後まで走り続けたいといけないというルールはないし、疲れたら歩いてもいい！そんな中で敢えて走るのは、なんともつらいスポーツのように感じますが、その長い距離の中で自分と向き合い、無心になり、そして多くの沿道のオーディエンスに励まされ、その中で出会える「諦めない自分」…。ここから生まれる充実感、一度経験してしまうとたまらない『快感』になるのだとか。それが、マラソンの魅力なのかもしれません。

ともかく、とどまることを知らないマラソンブーム。この人気に目をつけ、各地方では地域活性化のために市民マラソン開催が相次いで行われています。

そして、大阪もこのブームは例外ではなく、10月26日に開催される「大阪マラソン2014」では2万8,000名の参加者枠

を巡って、14万5,473名からの申込が殺到したとか。また今年は海外からの参加者が増加しており、過去最多の5,304名から申込みがあったようです。

ちなみに大阪マラソンは大阪城公園前をスタートし、インテックス大阪前をフィニッシュとするコース。またチャレンジ・ランは大阪城公園前から大阪市役所前までのコースとなっています。このコースの中でも見どころとなる場所が、御堂筋の銀杏並木、そしてコース終盤にある南港大橋の上り坂です。

御堂筋の銀杏並木は、マラソンが行われる10月26日頃なら、まだ青々と茂る葉が多い時期。銀杏並木のトンネルをくぐりぬけるランナーたちの姿は、きっと圧巻な景色となることでしょう。またランナーとして参加するなら普段は車でしかくぐり抜けることができない御堂筋を、自分の足で走る爽快さも感じられそうです。

たかがマラソン、されどマラソン…。これだけ多くの人を魅了するマラソンを、まずは、沿道から肌で感じてみるのもいいかもしれません！



寺内町にあるこちらの店舗は、店主の小倉さんが「無垢の木」にこだわり製作された、丈夫でここ良いモノづくりを基本に、暮らしに寄り添うオーダー家具の展示室として開設されています。

「無垢の木」の家具達は、人の身体にも優しく、木目や色の違い等、ひとつひとつに個性があり長く使い込むほどに味わいが増していきます。

また、小倉さんご夫婦が古民家に少しずつ手を入れながら、木材をふんだんに使い作り上げてきた手づくりの展示室は、木の優しい香りに包まれ、木が持つ「ぬくもりとやすらぎ」を身体全体でたっぷりと感じることで、癒しの空間となっています。

「ぜひ実物に触れてみてください」とおっしゃる小倉さん。依頼主と顔の見えるお付き合いを大切にして作られている「kinogu」の作品たちと一緒に、店舗内では奥さま手作りのリネンの素材を活かした洋服「linogu」(リノグ)や、木の小物達も販売されています。

自分だけの特別な家具を作ってみませんか？



Vol.12 家具製作 kinogu (キノグ)

住所：富田林市富田林町 17-42

電話：0721-21-3464

営業時間：11:00～17:00

OPEN：毎月1日～15日(月～土)

<http://kinogu.petit.cc>

Vol.13 Zakka+++marche (ザッカ プラスプラスプラス マルシェ)

住所：富田林市富田林町 12-12

営業時間：11:00～17:00

OPEN：金曜日・土曜日(年内不定期)

www.facebook.com/zakkamrche

Zakka+++marche、この3つの「+」(プラス)には、それぞれ「雑貨」と「古道具」、「和菓子」の意味があり、店名の通り市場(マルシェ)の雰囲気が出ると詰まった楽しいお店は、入口前にあるバス停の真つ赤な看板が目印になっています。

店主の渋谷さんに「雑貨」のこだわりを伺うと、他では見かけず扱わないもの、売ってそうで売っていないものをセレクトして置いているそうです。ここでは一期一会の素敵な出会いがありそうですね！

お店を始めた当初は雑貨だけを取り扱っておられたそうですが、寺内町で食べ歩きができる物を扱いたいと目をつけたのが「和菓子」。

店内にはよもぎ団子、三色団子、豆大福を基本に季節の商品も取り揃えており、夏はゼリー、秋にはお芋の和菓子も登場します。(夕方に行くくと売り切れていることもあるのでご注意ください！)

今では近所の皆さんも和菓子を目当てに訪れ、お店は町の交流場になっているそうです。「ぜひ、お店に来た際は気軽に話しかけてください。」とのこと。ユーモアたっぷり、笑顔が素敵な渋谷さんとのお話も、このお店を訪れる魅力のひとつになっています。



次号は「志びもぐりカフェ」と「mame-ten-cafe」を紹介します。お楽しみに！